

紫外線とは？.....可視光線ではないので見えませんが、雲や編み目の粗い衣料など簡単に透過し、水面や地面で跳ね返ります。日陰は紫外線を軽減しますが、反射した紫外線は日陰にも入ってきます。

一日のうち午前10時から午後4時までが強く降り注ぎます。月から月までが強く、特に5-9月が要注意です。九州は国内でも年間を通じて紫外線が強い地域です。紫外線の人体への影響は？.....紫外線は皮膚細胞の遺伝子を傷つけること、遺伝子プログラムを狂わせることなどが...

紫外線に対する二重目の発病を防ぐための免疫の働きが一時的に弱くなることが知られています。免疫機能が低下するとウィルスやカビなどにより感染症にかかりやすくなります。皮膚にできたガン細胞を取り除く免疫もありますが、もちろんそれも正常に機能しなくなります。

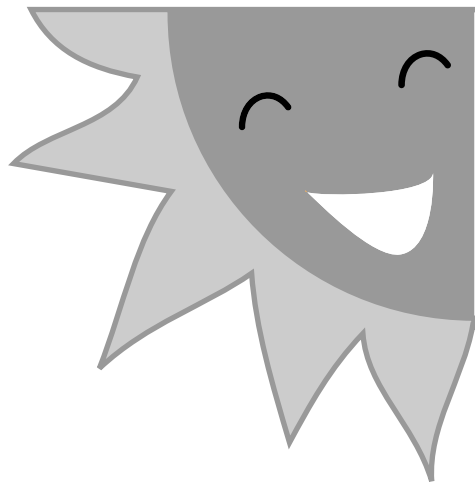
# 21世紀は、太陽と賢くつきあう時代

2000年 7月1日(土) 午前10時~  
会場 ぶれあいセンター 2F ボランティア研修室

しばた ひでとし  
講師 柴田英俊氏 プロフィール

1958年 12月 24日生れ。福岡県出身。  
血液型 A型。妻、子ども 3人の 5人家族。

- 1981年 日本体育大学卒業後  
体育講師として勤務
- 1987年 独立し、野外活動事業をはじめ
- 1988年 海外研修に頻繁に参加。野外活動インストラクター資格取得  
海外・国内でインストラクター、アウトドアガイドで活躍
- 1993年 友人が皮膚癌にかかりオゾン層問題を知る
- 1994年 オゾン層保護活動をはじめ
- 1996年 世界癌会議に出席。「オゾン層破壊による紫外線の影響」を痛感  
野外活動事業を廃業し、講師活動をはじめ
- 1997年 SUN SMART(太陽と賢くつき合う)を提唱  
「オゾン層破壊の現状・紫外線影響・各国の紫外線対策」について日本全国で講演  
特に、子どもの紫外線暴露に注意を呼びかける
- 1998年 国際紫外線教育ワークショップ(オーストラリア)  
国際紫外線対策ワークショップ(日本)に参加
- 1999年 紫外線教育研究所を設置  
紫外線教育モデル授業開始  
日陰作りガイドライン日本語版出版予定



有害紫外線 波を継続して浴びるとシミ・シワといった皮膚の老化が早まるだけでなく、皮膚ガン・白内障・免疫低下などが起こります。また、成長著しい子どもたちへの影響は大きく、特に母子手帳から「日光浴」という言葉が姿を消したように 0歳から 10歳の子どものために紫外線予防対策を身につけさせることが必要です。



講師依頼先  
福岡県教育委員会、福岡県生涯学習課、国立夜須少年の家、玄海自然の家、福岡市幼稚園連盟、福岡県ライオンズクラブ、福岡県ロータリークラブ、福岡県中小企業家同友会、エフコープ、グリーンコープ、ジャスコイオングループ、福岡市立小学校、福岡市立中学校、神戸・大阪保育園連盟、その他一般企業

主宰団体  
紫外線測定全国連絡会、紫外線教育研究会、ストップフロン福岡、ストップフロン九州ネット、ナチュラルリストクラブ

加盟団体  
ストップフロン全国連絡会、紫外線防御研究委員会

主催 ながさき県北『地球村』  
お問い合わせ 0956-64-2741(吉田) 0956-48-6005(中家)